厚木市議会会派
意見広告

無所属プロフェッショナル集団

新政あつぎ

6人の多彩な経験と徹底した
市民目線を持って、
市議会の変革と創造に努めました。
その一端をご報告致します。

農業対策と保育環境向上を

石井よしたか

早急な事業推進を

平成31年度の予算審議が始まりました。

私たちが住む厚木には、緑豊かな自然が身近にありますが、少子・高齢化の影響は農業分野にも大きな影響があり、主食であるお米を生産している私も含め農業者は、市民の生活にも大きな影響を与えかねない生活環境における多面的な機能を持つ水田を維持できるのか否かの岐路に立たされています。私たちは早急に農家の方々とともに農地保全と生活経営確立のために、農地の集約と集積化など基盤整備の事業を推進すべく、農協等も交え共同で市をはじめ、国・県に積極的に働きかけをしてまいります。また新規就農者の確保に向けた活動も進めてまいります。

質の高い支援を

子育て環境日本一を目指す市の保育の充実に向けた保育士確保支援策や施設運営など、市や県が支援している補助金等についての使途や効果等について確認と質問を行いました。規模等により違いはありますが、基本はどこの民間保育所（園）も同じでなければなりません。新年度予算化された継続事業並びに新規事業がより一層効果的に執行され、質の高い子育て支援ができるよう注視しながら応援してまいります。「感謝と恩返し」を掲げて四選された小林市長の厚木に対する熱き思いを政策に反映させていただくことを念願するものです。

厚木第二小周辺の歩道拡張

井上武

厚木第二小学校周辺通学路の歩道拡張を進めていきます。普段、通学路として利用している子供たちの安全を最優先に考え、早急に工事を進めていきます。

あさひ公園に貯留施設

市街地の浸水対策を進めております。これにより、ゲリラ豪雨や局地的集中豪雨による、地下道路浸水などに対応ができるようになります。さらに、公園もリニューアルし、子供遊具と健康遊具を設置いたします。

厚木北公民館建て替え決定

厚木北公民館建て替えと、元町交差点の整備へ向けて要望してきましたが、ついに9月議会において教育長より「本年7月に拡張用地の売買契約を締結したため、今後は、第九次厚木市総合計画第4期実施計画に基づき、着実に事業を進めていく」といった回答をいただくことができました。併せて完成に向け、少しでも早い対応を要望しました。

また、元町交差点の整備や歩行者だまり、周辺歩道の狭い箇所や老朽化が目立つことから、整備も要望していきます。

現在の厚木北公民館

子どもの健やかな成長を守るための取組は

あらい啓司

「80，252人」この人数が問うものは。全国の警察が2018年中に虐待を受けた疑いがあるとして児童相談所に通告した18歳未満の人数で、統計のある2004年以降、初めて8万人を超えました。この数字を、単に件数が増加したという負の面に目を留めることだけでなく、児童虐待への社会認識の高まりと捉えることもできるのではないでしょうか。

しかしながら、後を絶つことのない児童虐待。今年1月の千葉県野田市の小4女児虐待死事件も、社会的弱者である子どもに親が身勝手な価値観による暴力がもとで、虐待死という最悪の結果を招いています。この事件では児童相談所も、学校も、市役所も」結果的には、親の虐待を止める砦にはなり得なかった。改めて、我々大人がそれぞれの立場で、子どもたちの命を守るということが、最重要課題となっています。

厚木市での児童虐待としての通告件数も、16年度（112件）17年度（169件）と増加していますが。その中で、本市のセーフティネットである要保護児童対策地域協議会は「救える命を確実に救う」ための存在として、事案の防止と深刻化を防いでいます。同時に、全庁的な取り組みである「居所不明児童ゼロ」も重要です。

「ストップ　ザ虐待」の思いを市民の皆様と共有し、行政・学校等と市民の効果的連携、役割や課題解決の手立ての明確化など、今後も皆様とともに取り組んで参ります。

多文化共生の学校に

新川つとむ

12月定例会議で以下の三つの観点から一般質問をさせていただきました。

外国人労働者の対応

我が国の政策で今後増える外国人労働者ですが、現在の技能実習生は実習に名を借りて安価な労働力を確保するための方策として利用されている実態があります。今回改正された入管法によりさらに外国人労働者が増えていく可能性があります。外国人労働者が日本に、そして厚木に来てよかったと思って日本で過ごし、そして本国に帰っていただく環境が必要です。また今後家族で来日した場合日本語を理解できない子どもが厚木の小中学校に通うことになります。母国語が話せる日本語指導者の配置等、子どもたちが日本の学校に一日も早く慣れ、そして日本の文化や生活習慣が学べるよう、そして日本の子どもたちも多文化共生できる学校にして欲しいと要望しました。

本厚木下津古久線整備状況について、本

計画道路は南部産業拠点の都市土地区画整理事業が始まることから、重点整備地区だと考えるが本計画が住宅密集地を通過する事から完成まで困難と長い期間がかかる事から計画の見直しを含めて市道昭和用水線の整備を要望しました。

最後に小中学校及び公民館の体育館等のエアコン整備、そして、今後建築が予定されている厚木北・睦合南公民館については当初からのエアコン設置を要望しました。

市民の声を市政に

田口たかお

2月定例会議の一般質問では市民の声を市政に訴え要望を致しました。

睦合南公民館の建て替えを

公民館は社会教育や地域活動の拠点として重要な役割を担う施設です。睦合南公民館は築38年が経過し老朽化が進みます。また部屋数も少なく体育室・エレベーターも備えていません。すでに地元の建設促進委員会から市に建て替え要望書も提出されています。第10次厚木市総合計画への位置づけを要望いたしました。

築38年の睦合南公民館

鮎津橋架け替えを

市道金田妻田線の鮎津橋から金田側190mの道路改良事業が始まりました。現在の道路幅は狭く最小4.2mです。改良により道路幅は車道7.0m、歩道2.0mに拡幅され、交通の円滑化と歩行者の安全が期待されます。

ところが接続する鮎津橋の幅員は車道4.3m、歩道2.0mと狭く、ボトルネックとなってしまいます。鮎津橋から先は国道246号妻田交差点へと続き中津川を挟む金田・妻田を結ぶ重要な生活道路です。この市道整備と鮎津橋の架け替えを要望いたしました。

車道幅員4.3mの鮎津橋

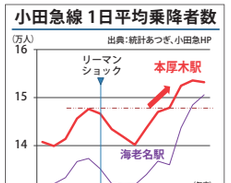
中心市街地の活性化を実現する全体像・将来像を示せ

髙橋ともみ

新市庁舎建設と駅前移転の検討が進んでいます。しかし今ここでの最優先事項は、市の持続可能性を高めること、中心市街地の活性化です。その為にはまちづくりの全体像・将来像を市民に示すことが必要です。

本厚木駅の乗降者数グラフ参照）は、リーマンショック後に底を打ったのち増加し、現在は過去最高水準にあります。これからの交通政策とまちづくり次第で、この駅利用者を更に増やすことも中心市街地の経済発展も可能です。

具体的にいくつか挙げます。周辺道路整備と併せ駅へのアクセス向上と鉄道とバス・車への乗り換えの利便性向上が必要です。駅前を素通りしては賑わいに繋がりません。魅力的な図書館や、シネコン（映画館）、大屋根のある全天候型イベント広場などを計画的に配置・整備を図っていく。現在厚木市文化会館の補修に約40億円が必要とされています。であれば駅周辺への建替えも視野に検討が必要です。



駅前の新市庁舎への来庁者がまちの賑わいに寄与することを否定はしませんが、中央公園に隣接する現市庁舎跡地の活用方法、まちの回遊性についての検討も必要です。

これらまちづくりを全体的に、かつ将来を見据えた計画が必要です。